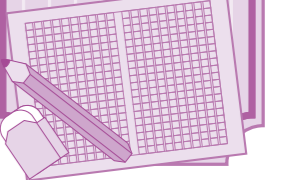




第38回全国中学生人権作文コンテスト 塩釜地区大会で表彰

松島町立松島中学校三年 金澤 綾音さん



11月30日松島中学校体育館において、優秀賞で表彰されました。

人権問題について考える

人権とは何なのだろう。辞書を引いてみればこんなことが書かれている。

「人権——人が生まれながらにして持っている人間としての権利」それは、形がなく、目に見えないものだ。普段から「私は人権を持っている」と意識している人もいないだろう。しかし、この世にいるすべての人は生まれながら「人権」を持っているのだ。当たり前のごとく、それを私たちは忘れがちではないだろうか。

人権は誰からも侵されることができない権利、つまり消すことはできないのだ。しかし人は簡単にそれを傷つけたり、奪ったりしてしまう。これがいわゆる「人権問題」というものだろう。今の世の中には悲しいことに、

いろいろな人権問題がある。その中で私が一番身近に発生していると考えるのは「差別」の問題だ。特に「男女差別」は古くから日本に根付いている問題である。

先日、私はあるニュースを目にした。その内容は「東京医科大学が入学試験の際、女子受験者の得点を一律に減点し、女子の合格者数を抑えていた」というものであった。私は初め愕然とした。そして大きな憤りを覚えた。「そんなことがあって良いのか」と。確かに女性の出産や育児で現場を長期間離れてしまつてもあるだろう。しかしそれは仕方のないことだ。子どもを生んで育て、命をつないでいかなければならない、それができるのは女性だけなのだから。決して医者が務まらない訳ではない。それなのに大学

の時点で男子の方を優先し、女子は冷遇する。これはいかなものだろうか。現在、日本でも医師不足が進んでいる。だからこそ病院側が女性医師を歓迎し、産休・育児後に復帰しやすい職場環境をつくっていくべきだろう。

実際、アメリカの病院では十六人の看護婦が同時期に妊娠し、相次いで産休を取るようになった。にも関わらず、病院側はそれを温かく祝福している。赤ちゃん用の服を作つて全員にプレゼントするほどだ。この違いはなぜ生じてしまうのか。

私の考えはこうである。まず、アメリカは男であれ、女であれ、技術・実力を一番重視している、ということだ。また、イギリスもそうだが、「レディファースト」など女性を尊重する精神がある、ということだ。これにより、「男女平等の実力社会」が形成されているのだと思う。それに対し、日本では「女よりも男の方が上」という理不尽で

古い考え方がいまだに残っているのだから。口では男女平等だと言いつても、頭のどこかにこの認識が少なからずあるとすれば、この男女差別が消える訳がない。

「ここまでは「女性差別」についてだ。しかし、逆に「女性だけが特別」ということも世の中にはある。身近な例で言えば「電車の女性専用車両はあるが、男性専用車両はない」などである。これは痴漢被害から女性を守るため、という理由のもとに設置されたのだが、一部の男性たちからは憎悪の対象となつてしまつている。「女性専用車両は男性差別だ」と。

このように見ていくと、差別は日常のいたるところにあり、とても身近なものだ。しかし、なぜなくならないのだろうか。また、なくすためにはどうすれば良いのだろうか。

私は「一人ひとりが差別に対してもっと関心を持つこと」が一番重要だと思う。現在もいろいろな機関が呼びかけたり、ポスター等を作つたりして取り組んでいる。だが「私は被害にあつてないから関係ないや」と思つていたら、それらは意味をなさない。私たちが自分自身のことだと思つて「差別はダメだ

！と立ち上がらなければならぬのだ。それにはまず関心を持ち、私たちにできることは何だろう、と考えていくことが必要だ。そうすればきっと、この男女差別もなくなっていくことだろう。

最初に述べたように、世の中には様々な人権問題がある。いじめ、人種差別、障害者の人権問題。それだけでなく、世界にはいろいろな問題があふれている。地球温暖化などの環境問題、発展途上国での水や食料不足の問題、そして「戦争」という平和に関する問題。それらをすべて解決することはとても難しい。それでも「できない」とは言い切れない。一人の力では無理でも、世界中の人が力を合わせれば。

理想論だと言われればそれまでだろう。私も絶対「できない」なんて言い切ることはできない。「私に何ができるか」と問いかけたところで、簡単に思い付くものでもない。

でも考えることは決して無意味ではない。きっと、解決への小さな小さな一歩入つたがるだろう。だから私は、いつかその日が来ることを信じて、これからも歩き続けようと思う。

東日本大震災義援金支給

東日本大震災災害義援金の支給が下記のとおり決定しました。該当される方には12月下旬から順次、ご指定の口座に振込みをしています。あらためて申請書の提出は必要ありませんが、受給者が変わる場合や口座を変更したい方は「変更届」の提出が必要です。

- 支給金額
 - 【義援金受付団体分（第10次）】
 - 死亡・行方不明：5,000円／全壊5,000円／大規模半壊3,000円／津波浸水区域内（全壊）1,000円
 - 【宮城県災害対策本部分（第9次）】
 - 津波浸水区域内（全壊）1,000円／津波浸水区域内（大規模半壊）1,000円
 - 【町第4次配分】
 - 死亡・行方不明：6,000円／全壊6,000円／大規模半壊4,000円／津波浸水区域内（全壊）3,000円／津波浸水区域内（大規模半壊）2,000円
- ※義援金受付団体分：日本赤十字社、中央共同募金会、日本放送協会、NHK厚生文化事業団の義援金受付／宮城県分：宮城県災害対策本部の義援金受付
- 問合せ 町民福祉課福祉班 ☎354-5706

松島町温水プール 美遊からのお知らせ

松島町温水プール美遊では18歳以上のプール・トレーニング室利用者を対象とした「美遊スタンプカード」を始めました。プールまたはトレーニング室ご利用でスタンプをためると、5回ごとに施設利用が無料となります。スタンプカードは無料で発行いたしますので、ぜひ松島町温水プール美遊をご利用ください。

B&G 海洋センターだより

● 問合せ B&G海洋センター ☎353-3688
● 開館時間 午前9時～午後9時 休館日 年末年始

B & Gでいい汗を流しませんか？
B & G海洋センター体育館の照明が新しくなり、多くの利用者の方から喜びの声をいただいております。町民の皆さんの益々の利用をお待ちしております。

【利用時間】
・午前 午前9時～正午
・午後 午後1時～午後5時
・夜間 午後5時～午後9時

2018B&G宮城ウインタースポーツフェスティバル 開催のご案内

- 日時 2月2日（土） 午前9時30分～午後2時
- 会場 みやぎ蔵王えぼしリゾート（えぼしスキー場）
- 内容 ゴンドラ乗車体験、そり遊び、雪遊び体験
- 対象 小学1年生から6年生
- 参加料 900円（体験代、昼食代込み）※当日徴収します
- 服装 雪遊びができる服装（防寒着、ブーツ、手袋など）
- 申込締切 1月18日（金）
- 問合せ B & G海洋センター ☎353-3688